

マイ・コーちゃん:下手ハケ
 テル:暗い表情後に上手ハケ
 ☆:2s F0 3



シーン⑥『願い』

舞台構成：3人が各々の家へと行く。
 舞台中央を互いの家の玄関とする。

マイ:緊張な面持ちで下手入り

☆:5s FI 10

♪:「チャイム音」CI音源 ②

マイ 「(2s)あ、あのっ、レンくんって…、
 いない、ですか、…すいません、あ
 りがとうございます、」

マイ:悲しそうに下手ハケ

テル:マイのハケと共に上手入り

♪:「ノック音」CI音源 ③

テル 「タツ？いるー？」
 テル 「おーい！」
 テル 「…ちえっ、居留守かよ、」

テル:肩落として上手ハケ

☆:3s F0 2

☆:3s FI 7

マイ:下手入り

♪:「チャイム音」CI音源 ②

♪:「ドアが開く音」CI音源 ④

マイ 「っ、レンくん、！」“開いたことへの喜び”

マイ 「ねえっ、レンくんっ、！」“ドア開けようとして”

マイ 「レンくんっ、お願い開けて、！！一度話し合おうよ、！！」

♪:「ドア閉まる音」CI音源 ⑤

マイ 「レン…くん…」 “座り込み”

♪:「雨音」3s FI音源 ⑥

テル:駆け足で上手入り

テル 「はあ、びっしょびしょ、」 “服払い”

♪:「ノック音」CI音源 ③

テル 「タツー、私びっしょびしょなんだけど(怒ってる風)。はあ、今日も居留守？」

テル 「ねえ、出てきてよ、」

テル 「…タツ…」 “声震わせ、ドアの前に座り込む風”



シーン⑦『別れ』

舞台構成：タツの家の前、テルはタツに語りかける。
 罪悪感を抱えながらも、正常な判断ができないタツは、ダメとは分かりながらもテルに対して乱暴に当たる。
 テルの叫び声を聞いた警察は、すぐさまタツを拘束。
 麻薬及び向精神薬取締法違反容疑で、身柄を確保する。

☆:ゆっくり FI 10

タツ:イヤホンを付けながらフラフラ上手入り

マイ:俯きながらゆっくり下手ハケ

テル 「っ…タツ…？」“戸惑い”

タツ 「…なに…してんの…」 “気まずそうにゆっくりイヤホン外し”

テル 「タツに会いに来たんだよ、一度、

ちゃんと話しよ、？
私にできることなら何でもするから
さ、ね？もうやめよ？
こんなの… “立ち上がり”
タツ 「うるせえな… “これ以上言う
な…という気持ちを込めて”
テル 「ねえお願いもう一度… “腕掴み”
タツ 「うるせえつつってんだろ！？構うん
じゃねえよ！！” “振り払い”
テル 「タツ、！！” “怒り”
タツ 「ああ分かったあ！お前もほしーん
だ！？な！？ほら来いよ、最高の気
分にさせてやるからさあ！！” “テ
ルの腕掴み、部屋に連れ込む.”
テル 「や、やめて、やめて、タツ、やめ
て、！！” “壁に打ち付けられる
感じ”
タツ 「ほら、飲めよ、お前も喰ちようぜ？
きもちくなるーよ！笑” “袋を目の
前に揺らし”
テル 「タ…ツ…、” “タツの方に手を伸ば
し”

♪：「ドア蹴り破る音」CI音源 ⑦

警官：駆け足で上手入り後、タツを取り押さえ。

警官 「岩見タツ、麻薬及び向精神薬取締法
違反容疑、19時42分身柄確
保。」 “タツを拘束し、逮捕状を見
せる”
タツ 「っ、くそ、なんだお前、！！！離せ
よ、離せ！！！” “必死に暴れ”
警官 「暴れるな！連行する！立て！！”
“無理矢理に立たせようとして”
テル 「っ、タ、タツ、タツ、やだ、だめ、
やめて、！！” “呆然とした後、ハ
ッと意識を戻し必死になって止め
て”
タツ 「離せ、！！！やめろ、おい、！！！
（上手へ引き摺られるように連行さ
れ）…テル、！！（最後に色々な感
情を込めて名前を呼び）」

警官・タツ：上手ハケ

テル 「タツ…タツっ、タツ…！！タツー
っ… “崩れ落ち”

☆:C0

♪：「コール音」CI音源 ⑧

マイ 「…もしもし村本で…」
テル 「…マイちゃん…、私…。」
マイ 「…どうしたんですか…？」
テル 「…タツ…、連れてかれちゃったの
…。」 “涙ながらに”
マイ 「え…。」

☆:2s FI 10

コウ 「テルちゃん先輩…、」
テル 「タツ…私のせい…、」
コウ 「テルちゃん先輩のせいじゃ…」
マイ 「レンくんは、？レンくんも連れて行
かれちゃうの、？」
コウ 「レンを探そ？それで、ちゃんと説得
して、警察の所行かせて、」

♪：「着信音」CI音源 ⑨

マイ 「せんせ…。」 “画面を見る”
コウ 「リョースケ先生…？」
マイ 「(頷き)っ、もし…もし、” “耳に当
て”
マイ 「(6s)…っ、警察…に…？」 “動揺・
呆然”
コウ 「は…、っ、貸して、！（奪い取り)先
生？どういことですか！？
(3s)…っ、そんな、レンは？」

コウ 「…(5s)…、分かり…ました…。」
♪：「通話切れる音」CI音源 ⑩
テル 「レン…ちゃんは…？」
コウ 「先生が、警察署に、連れていった
…。」 “話しながらスマホをボック
へ”
マイ 「早く行かなきゃ、行かな
きゃ、！！” “パニックになり”
コウ 「落ち着いて！！” “肩掴み”
マイ 「どうやって！？(叩き落とし)ねえ、
レンくん捕まっちゃうよ、ねえ！ど
うやって落ち着けていう
の、！！！” “声張り上げ”
テル 「やめて、」
コウ 「マイ、あんたまでおかしくなっ
ちゃった！？(怒鳴り)
ねえ、いい加減、」
テル 「やめてっ！！！” “叫び”
マイ・コウ 「…っ、」
テル 「もう、やめよ…？(立ち上がり)…仕
方ないんだよ…。
こういう、運命…なの…(声震
せ)。
……2人がそんなんで、どうする
の、？そんな状態で、レンちゃんに
会えるの？」
マイ 「…(俯き)…ごめん…なさい…、」
コウ 「…っ、” “俯き”
テル 「…大丈夫、大丈夫っ、レンちゃんを
信じよ？大丈夫だよ、大丈
夫、！！” “どこか自分にも語りかけ
るように”
コウ 「…行こう、レンに、会いに、」
“マイを支え”

マイ・テル 「うん、」
コウ・マイ・テル 「大丈夫」
テル・マイ・コウ：下手ハケ
☆:7s F0 0 (3人のハケと共に)



シーン⑧『後悔』

舞台構成：真ん中に机1つ、左側には椅子1つ。
舞台上手から、警察に拘束されたレンが歩いて